

この学校にわたしたち

2023. 3. 3

N067

ちょっとした変化に気づく…



私は毎朝、同じ時刻に家を出るため、最初の信号でバスとすれ違い、2つ目の信号を曲がったところで犬の散歩をしている老夫婦と出会い…白山町の三ヶ野のあるポイントで黒色の車とすれ違います。毎日、同じような風景ですが、ちょっとしたタイミングの違いで“今日は自分が遅れているな”とか“相手が今日は遅かったな”など考えながら出勤をしています。毎日、接していると分かりにくいこともありますが、毎日、接しているから

こそ分かる変化もあると思います。随分前になりますが、知人の先輩教員が、家で咳をした時に家族の方から「いつもと咳がちがうから病院に行った方がよい」と言われ、病院に行ったところ、重篤な病気が発見されたと聞いたことがあります。毎日一緒にいる家族だからこそ分かったことだと思います。

子どもたちに対して私たち親も教師も「あれ？」と気がつく敏感さが大切になります。先日、午前中、津市教育委員会から本校に授業を見に来てもらった（私は出張で不在）日の午後、参観した方から「校長先生、授業の始めに1人元気のない児童がいたんです。そうしたら、別の児童が『〇〇さん、大丈夫？』って」すぐに声をかけてくれて、続いて担任の先生も『どうしたの？』って声をかけて…すごいあたたかい雰囲気を見られて嬉しかったです」と聞かせていただきました。人を大切にする学級（学校）とは周りの人に敏感になり、放っておかない学級（学校）です。参観していただいた方との懇談の中で私は「自分が悲しい気持ちになった時、友だちも先生も何も声をかけずに授業が始まっていったらこの子はもう一度悲しい思いをすることになります。また、周りの子も友だちが悲しい表情をしていても気が付かなくなってしまう、冷たい学級になりますね」と話をしました。実際、この子は声をかけてもらってすぐに元気を取り戻したと聞きました。

私たち大人もこの子どもに負けないう、常に子どもの変化に気づき、声をかけていけるようになりたいと思います。



いよいよ令和4年度も最後の“月”となりました。今年度のまとめの月であると同時に子どもたちにとっては、次の1年に向けて大きく飛躍する月でもあります。3月もよろしくお願いします。

2日（木）園小交流会 10:00～

3日（金）朝会

9日（木）6年生児童による謝恩会

16日（木）給食終了

17日（金）卒業式

24日（金）修了式・離任式